



一般質問

小杉 邦男 議員

■の保育政策が大きく変わる今 保育園民営化方針は再考すべき



【質問】 地域商店街は郊外大型店進出で衰退し、地域コミュニティの維持は

■難な状態になっている。大型店の規制が必要である。

【市長】 大型店の出店の影響は大きい。空き店舗活用、資金対策等を実施しているが難しい状況である。

【質問】 現在の農家所得補償政策では根本的な問題解決は■れない。社会基盤としての農村社会を再建する対策が必要である。TPP協定は農産物の完全■■化を求めるものであり、■本農業を壊滅させるものである。断■として反対すべきである。

【市長】 戸別所得補償政策では米価下落への対応は■難である。佐渡産米の価値向上策で農家所得増

に努めたい。TPP協定には反対する。

【質問】 高齢化地域である佐渡では他に先がけ高齢者対策が求められている。

【市長】 施設入所待機者の解消に努力する。高齢者にやさしい島づくりに努めたい。

【質問】 ■の保育政策が大幅に変わろうとしている今、保育■の民営化は急ぐべきではない。市立保育■のサービスを充実し、保護者要望にこたえる努力こそ必要である。

【市長】 ■の動向を注視しながら民営化の準備はしていきたい。

【質問】 二畜産廃施設問題の市の約束不履行に地域住民は不信感を強くしている。約束した協定書の締結、運搬道路整備は市の責任で急ぎ解決を■ら

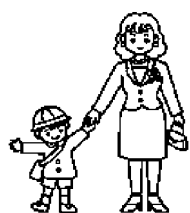
れなければならない。

【市長】 約束事項の解決に努力する。副市長をその折衝にあたらせる。

【質問】 業務への適正な職員配置はなされているか。必要な時間外勤務は住民サービスの点から対応が必要、どのように管理されているか。健康管理についてはどうのように対処しているか。

【総務課長】 業務量に応じた職員の適正配置に努めている。時間外勤務は命令下で管理されている。衛生委員会を設け健康管理に努めている。特にメンタル疾病の予防に力を入れている。

総務課長 業務量に応じた職員の適正配置に努めている。時間外勤務は命令下で管理されている。衛生委員会を設け健康管理に努めている。特にメンタル疾病の予防に力を入れている。



一般質問

近藤 和義 議員

税金のムダ遣いを斬^きれ



【質問】 焼却場の統合により、年間、約2億円の運営費削減ができるが、その統合時期を問う。また、約5000万円もの全く不要な物を交換し法外な修理費を毎年支払っているが、職員による精査が無理ならば外部委託をすべき。

【環境対策課長】 クリーンセンターの高額な運営費の軽減を■るため、本年度から両津管内のごみを佐渡クリーンへ業務集約をしている。平成25年、26年度に佐渡クリーンの基幹工事を行い、平成27年度に両津クリーンの廃止を検討している。

【市長】 クリーンセンターの修理等についてはその確認をして、職員に能力がなく外部に任せざるを得なければそのようにする。

【質問】 農業用廃プラは島外処理をしているが、その支援体制が必要。

【環境対策課長】 処分費が本土に比べて高額なので、新年度から農業者への補助を協議している。

【質問】 フォトコンテストは、企画運営を業者に丸投げで良いのか。原生林写真集製作も予算のムダ遣いであった。

【観光商課長】 フォトコンテストは今後、取組み方を見直す。写真集は一万冊印刷して778冊販売している。

【質問】 漁業用水の大幅値上げに対する市の対応は。

【市長】 島外からの水の運搬システムが継続不可能な実態を調査し、支援体制をとる。

【質問】 CNS加入者はデジタルテレビを買わなく

ても今のアナログテレビが視られるのに、なぜ市民に周知しないのか。

【総合政策主幹】 周知が不十分であったことは反省している。今後、サドテレビエリアも同一の対応をするように努力する。

【質問】 民主党政権は離島を大事にする政権だが、今■の地域活性化交付金の本市への交付金額と順位は。

【財務課長】 総額7億3000万円、全■1750の市町村中、2位。1位は新潟市で政令市を除けばトップである。





◆平成22年 第9回定例会の議決結果をお知らせします

件 名	月 日	議決結果
平成21年度佐渡市一般会計及び各特別会計歳入歳出決算の認定について	12/17	可決
平成21年度佐渡市小倉財産区及び寺田財産区決算の認定について	12/17	可決
平成21年度佐渡市病院事業会計決算の認定について	12/17	可決
平成21年度佐渡市水道事業会計決算の認定について	12/17	可決
佐渡市職員定数条例の一部を改正する条例の制定について	12/17	可決
佐渡市過疎地域自立促進特別事業基金条例の制定について	12/17	可決
佐渡市榑川ふれあい集会所の設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について	12/17	可決
佐渡市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	12/17	可決
字の変更について（加茂新田地区）	12/17	可決
字の変更について（両津南部地区）	12/17	可決
新たに生じた土地の確認について（沢根五十里地内）	12/17	可決
字の変更について（沢根五十里地内）	12/17	可決
新たに生じた土地の確認について（片野尾地内）	12/17	可決
字の変更について（片野尾地内）	12/17	可決
新たに生じた土地の確認について（江積地内）	12/17	可決
字の変更について（江積地内）	12/17	可決
新たに生じた土地の確認について（岩首地内）	12/17	可決
字の変更について（岩首地内）	12/17	可決
公の施設に係る指定管理者の指定について（佐渡太鼓体験交流館）	12/17	可決
公の施設に係る指定管理者の指定について（心身障がい者福祉センター）	12/17	可決
公の施設に係る指定管理者の指定について（精神障がい者福祉センター）	12/17	可決
公の施設に係る指定管理者の指定について（さわたコミュニティセンター ビューさわた、佐和田大佐渡交流活性化センター）	12/17	可決
公の施設に係る指定管理者の指定について（佐渡海洋深層水分水施設）	12/17	可決
公の施設に係る指定管理者の指定について（赤濱農林漁業体験宿泊施設サンライズ城が浜、赤濱温泉保養センターあかどまり城が浜温泉）	12/17	可決
公の施設に係る指定管理者の指定について（勤労青少年ホーム、両津運動広場、両津野球場、両津テニスコート、両津農村広場）	12/17	可決
佐渡市陸上競技場建設（土木）工事請負契約の締結について	12/17	可決
財産の無償譲渡について（榑川ふれあい集会所）	12/17	可決
佐渡市過疎地域自立促進計画の策定について	12/17	可決
平成22年度佐渡市一般会計補正予算（第7号）について	12/17	可決
平成22年度佐渡市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）について	12/17	可決
平成22年度佐渡市介護保険特別会計補正予算（第4号）について	12/17	可決
平成22年度佐渡市簡易水道特別会計補正予算（第3号）について	12/17	可決
平成22年度佐渡市下水道特別会計補正予算（第3号）について	12/17	可決
平成22年度佐渡市水道事業会計補正予算（第3号）について	12/17	可決
人権擁護委員候補者の推薦について	12/17	可決
人権擁護委員候補者の推薦について	12/17	可決
平成22年度佐渡市一般会計補正予算（第8号）について	12/17	可決

議会のうごき

9月	30■	決算審査特別委員会
10月	1■	決算審査特別委員会
	4■	決算審査特別委員会
	5■	決算審査特別委員会
	6■	議会報編集特別委員会
	7■	決算審査特別委員会
	8■	決算審査特別委員会
	12■	空港対策特別委員会
	14■	全■市議会議長会基地協議会北信越部会総会
	15■	各派代表者会議
	18■	決算審査特別委員会
	19■	決算審査特別委員会
	20■	議会報編集特別委員会
		決算審査特別委員会
	21■	決算審査特別委員会
	23■	入間万燈まつり(～24■)
	28■	議会運営委員会
11月	1■	臨時会
		各派代表者会議
		議会運営委員会
	4■	総務文教常任委員会
	6■	■分寺まつり(～7■)
	10■	市民厚生常任委員会
	19■	議員全員協議会
	24■	議会運営委員会
		空港対策特別委員会
		観光資源開発等調査特別委員会
	25■	議員全員協議会
		決算審査特別委員会
	26■	臨時会
		各派代表者会議
	30■	議会運営委員会

3月定例会のお知らせ

3月定例会は3月2■(水)に開会される予定です。本会議の様子を傍聴やテレビ中継でぜひご覧ください。



議会の傍聴においでください

本会議は一般に公開されており、どなたでも■■に傍聴できます。傍聴の手続きは簡単で議場の傍聴席入■の受付で住所・氏名などを記載するのみで傍聴できます。ぜひ足をお運びください。

議場は市役所佐和■行政サービスセンターとなりの佐渡中央会館内にあります。

また上程された議案書は本会議場で閲覧できるほか、中央■書館及び地区■書館等においてもご覧になることができます。

時事通信

《市政コーナー》に
掲載されました

佐渡市への行政視察が増えています

佐渡市は地方議員の情報発信力を活用し、低迷する観光振興の起爆剤にと全■すべての市・特別区に案内状を送付、議員の行政視察受入れに力を入れている。

議員が島の魅力を体感して視察後に佐渡の良さをPRしてもらうことで観光誘客のきっかけになると議長が案内状の送付を発案。8月～10月にかけて各議会議長あてに案内状を送った。

案内状にはトキと共生する島づくりや海洋深層水を活用した漁業、廃食油再生燃料化事業など市の取組みに関する資料を添付。■中でもトキの野生復帰事業に合わせた環境への取組みや、過疎化に伴う空き家対策事業などが他の■自治体から注■されている。

全■的に行政視察が減る傾向にある中、佐渡市への視察は年間40■自治体程度を維持している。



「時事通信官庁速報より」

編集後記を書いている■時は、新しい年を迎えている1月4■(火)午前9時頃。今年の干支はウサギ年。「鳴かない」「臭くない」「室内だけで飼える」「癒される」と、都会暮らしに合ったペットとして人気が出ているそうです。車の運転中、雪の中をピョンピョン跳ねている野ウサギを見たのは、だいぶ前のこと。皆さんは、■自然の中でのウサギを最近、見られたでしょうか。今年は、ウサギのようにみんなが安心して暮らせそうですように。よいことで、ジャンプの年にしましょう。

(中村良夫記)

編集後記

◇行政視察来市状況

10月	4■	長崎市議会 (世界遺産登録に向けた取組み)
	7■	大分県竹■市議会 (世界遺産登録に向けた取組み)
	8■	茨城県石岡市議会 (準市民制度)
	15■	和歌山県海草郡紀美野町議会 (トキと暮らす郷づくり認証制度)
		大分県豊後小野市議会 (将来ビジョン、組織改革)
	20■	北海道北見市議会 (観光誘客事業、空き家対策事業)
	21■	兵庫県姫路市議会 (トキと暮らす郷づくり認証制度)
	26■	沖縄県浦添市議会 (BDF燃料化事業、海洋深層水利用事業)
		群馬県富岡市議会 (空き家対策事業、準市民制度)
	27■	兵庫県姫路市議会 (BDF事業、海洋深層水利用事業)
		京都府議会 (美しく環境にやさしい島づくり)
	29■	佐賀県唐津市議会 (空き家対策事業、生物多様性推進の取組み)
11月	10■	鹿児島県鹿屋市議会 (地産地消推進条例)
		北海道釧路市議会 (トキと暮らす郷づくり認証制度、空き家対策事業、準市民制度)
	16■	福井県大野市議会 (バイオマス利活用推進事業)
		熊本県天草市議会 (空港対策)
	17■	岡山県津山市議会 (生物多様性推進の取組み)
		富崎県延岡市議会 (地域観光振興計画滞在型観光、BDF事業)
12月	21■	福岡県北九州市議会 (世界遺産登録に向けた取組み)

